

追跡 2024

④

その瞬間、厳罰を望んできた遺族はついたての向こうでおえつを漏らした。

7月4日、静岡地裁の202号法廷。牧之原市の認定こども園「川崎幼稚園」の園児の河本千奈ちゃん(当時3)を乗せたバスに置き去りにして死亡させた業務上過失致死事件の判決公判で、地裁は増田立義前園長(75)に禁錮1年4月の実刑、元担任(49)に禁錮1年、執行猶予3年を言い渡した。

地裁は①増田前園長が管理者として送迎バスを運行する際の園児の安全に関する計画を策定し、職員らに実施させなかった②増田前園長がバス

バス置き去り 前園長実刑

保育現場の安全再考へ

の運転者として確実に園児を降車させなかった③元担任が園児の所在を確認しなかったの三つの過失が競合して事件が起きたと認定。約1年前

に福岡県の保育園で同様の置き去り事件があったことを踏まえ、特に増田前園長の責任は「非常に重い」と断じた。2人は控訴せず、一審判決が

確定した。事件直後から再発防止策を講じた東内の保育関係者は判決を受け、園児の安全について改めて再考を迫られた。県中部の4代のもも園

長は「元担任の有罪判決に」そこまで責任を負わなければいけないのか」と疑問を投げかける。県西部のことも園に勤務する4代の保育教諭は「とにかくどんな場面でも確認は大事」と気を引き締めつつ、「保育園や幼稚園の先生を志す若い人が『なりたくない』と思ってしまうんじゃないか」と判決の影響を案じる。

河本千奈ちゃんの命日に献花台に手向けられた絵や花束＝9月5日、牧之原市



△メモ▽2022年9月5日、牧之原市の認定こども園「川崎幼稚園」で園児の河本千奈ちゃんが送迎バスに約5時間置き去りにされ、熱射病で死亡した。政府は事件を受け、全国のこども園や幼稚園などの送迎バスにブザーやセンサーといった安全装置の設置を義務付けた。

保育士の資格も持つ日大大学院危機管理学研究科の鈴木秀洋教授は、判決の意義を子どもの命を預かる専門職としての職責の重さを示した」と述べた。他方で保育現場は人手不足や業務過多が続き、保育者の物的、心的負担が増大していることも強調した。保育現場の置かれた現状を理解した上で、子どもの安全をどう確保していくか。社会全体が問われている。(社会部・木村祐太、榛原支局・沢口翔斗)